

## 平成 18 年度決算に係る財務諸表及び収支計算書について

## 1. 再資源化預託金等特別会計

## 【財務状況】

## ① 貸借対照表について

「再資源化等預託金」は前年比 2,460 億円増加の 6,897 億円、「情報管理預託金」は前年比 58 億円増加の 118 億円となった。これにより、「再資源化預託金等特定資産」も前年比 2,925 億円増加の 6,891 億円(有価証券 6,820 億円、預貯金 71 億円)となったが、その反面、年度末に於ける預託金預り収入の減少に伴い(※)、「未収入金」は 216 億円と前年比 350 億円減少している。したがって、資産合計は前年比 2,576 億円増加の 7,107 億円となり、負債合計も同額の 7,107 億円という結果となった。

(※) 2～3 月の継続検査時等預託・引取時預託に係る「預託金預り収入」を比較した場合、当年度は前年度よりも減少している。

## ② 正味財産増減計算書について

有価証券及び預貯金の受取利息である「特定資産運用益」と、これに対する費用「支払再資源化預託金等利息」は 58 億円の実績となった。また、出えんに係る収益である「特定再資源化預託金等出えんのための負債の減少額」と、これに対する費用「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰出額」は 7.6 億円の実績である。その結果、収益・費用の合計はともに 66 億円となった。

## 【収支状況】

- ① 預託台数は、年度予算作成時に想定した年間預託台数(新車・継続・引取)2,887 万台に対して、2,845 万台となった。その結果、「預託金預り収入」は予算 2,928 億円に対して 2,832 億円の実績となった。
- ② ASR 及びフロン類の払渡台数が、年度予算作成時に想定した 342 万台・273 万台に対して、337 万台・245 万台となった。その結果、「預託金払渡支出」は予算 278 億円に対して 270 億円の実績となった。

- ③ 中古車輸出返還台数は、年度予算作成時に想定した 31 万台に対して 38 万台となった。従って、「再資源化預託金等輸出返還支出」も年間予算 31 億円に対して 36 億円の実績となった。
- ④ 台数差はあるものの、全体的にはほぼ予算通りに推移した。

## 2. 承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計

### 【財務状況】

- ① 正味財産増減計算書について

出えんに係る「特定再資源化預託金等出えん費」(※)は 7.6 億円の実績となった。

### 【収支状況】

- ① 出えん金の「特定再資源化預託金等出えん支出」(※)は 7.6 億円の実績となった。

(※) 出えんの内訳は、指定再資源化機関に 4.1 億円(離島対策等支援事業)、情報管理センターに 3.5 億円(電子マニフェスト事業・書面利用移動報告事業等)である。

## 3. 資金管理料金特別会計

### 【財務状況】

- ① 貸借対照表について

「現金預金」は正味財産の増加等により、前年比 30 億円増加の 61 億円となったが、その反面、年度末に於ける資金管理料金収入の減少に伴い、「未収入金」は 14 億円と前年比 14 億円減少している。

「未払金」は年度末に於ける委託手数料支出の減少等に伴い、8 億円減少の 12 億円となった。また、「預り金」も再資源化等預託金の減少により、3.8 億円減少した。

その結果、資産合計は前年比 15 億円増加の 79 億円、負債合計は前年比 12 億円減少の 14 億円となった。

② 正味財産増減計算書について

「資金管理料金収益」130億円を含め、収益合計は153億円の実績となった。これに対し、費用合計(事業費123億円、管理費2億円)は126億円となり、当期の正味財産増減額は27億円の実績であった。

【収支状況】

- ① 預託台数が想定を下回ったことにより、「資金管理料金収入」は予算132億円に対して130億円の実績となった。
- ② 事業活動支出は年間予算130億円に対して125億円の実績となった。

4. 会計監査及び監査報告

- ① (財)自動車リサイクル促進センターでは、年度決算に於いて監査法人による会計監査を受けることになっている。この監査は、企業会計審議会で定められた監査基準に準拠して行われるものであり、監査法人は同基準に基づき、財務諸表及び収支計算書が「公益法人会計基準」(公益法人指導監督連絡会議決定)に準拠して適正であるか否かを監査する。
- ② (財)自動車リサイクル促進センターは、平成18年度の財務諸表及び収支計算書について監査法人による会計監査を受けた。その結果、平成19年6月4日付で監査法人より「独立監査人の監査報告書」を受領し、「財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人自動車リサイクル促進センターの平成18年度末日現在の財政状態及び同年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。」、「収支計算書は、『公益法人会計における内部管理事項について』(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に従って、財団法人自動車リサイクル促進センターの平成18年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める」、との報告を受けた。

以上